第 161 回古民家歴史部会 ・歴史探訪

大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」のゆかりの地を訪ねる）

朝夷奈（あさいな） 切通しを歩く

本郷ふじやま公園古民家歴史部会　神田 惠仁

実施 ： 令和 4 年 6 月 7 日(水)

集合 :朝比奈バス停　（金沢八景方向行き）

行程 :朝比奈バス停➡上総之介塔➡朝比奈峠散策路➡三郎ノ滝➡梶原景時太刀洗い水➡十二所神社➡大江稲荷➡光触寺➡大江広元墓所➡泉水橋

上総広常（佐藤浩市）は、源頼朝（大泉洋）が石橋山の戦いで敗れ、安房（源頼朝上陸地）に渡り体制を整えて鎌倉入りするときに従った武将。2万騎を率いて参陣。

梶原景時（中村獅童）は、平氏側として、石橋山の戦いで、敗走中の源頼朝を救ったことから、重用され侍所所司、厩別当となった。東国武士には珍しく教養があり、和歌を好んだ。頼朝の信任も厚く特命を受けて、上總広常を誅殺した。

上総之介塔

上総広常（佐藤浩市）は平安末期から鎌倉時代前期に活躍した布施生です。房総半島の上総の国の領主であったことから、上総氏を名乗っていました。 源頼朝による平家討伐の挙兵では頼朝に味方しましたが、本格的な源平合戦に入る前に、侍所所司（次官）として頼朝の側近になっていた梶原景時（中村獅童）によって殺害されました。

熊野神社

源頼朝が鎌倉幕府の艮方（鬼門）を守護するために、熊野三社を勧請したことが始まりと伝えられています。

梶原太刀洗水

梶原景時が上総之介広常を討ったのちに、血の付いた太刀を洗った湧水とされています。

十二所（じゅうにそ） 神社

十二所神社の十二とは十二柱の神々という意味で、十二柱とは天神七代と地神五代からなり、生命の発展、伸長の源になる大神とされ、これ等を祀ってあることに社名の由来があるといわれています。

大江稲荷社

鎌倉幕府で初代政所別当（長官）を務めた大江広元を（栗原英雄）祀る社。

光触寺

境内にはお供え物の塩を嘗めると伝えられる”塩嘗 しおなめ 地蔵”が祀られています。

大江広元邸跡

碑には大江氏は代々学問の家として知られていたと記されています。 かつて（大江）匡房（ただふさ）は源義家に兵法を教えた。 広元はその匡房のひ孫で頼朝に招かれ、鎌倉に来てからは常に（政治の）中枢にあり、機密な事柄に参画した。 幕府の創設の功績は広元の力によるものが大きい。

第161回　古民家歴史探訪（大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの地を訪ねる）

朝夷奈切通しを歩く　　23年6月7日実施

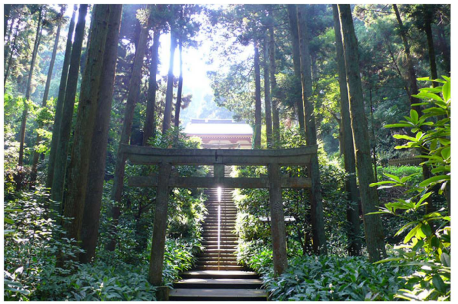
十二所神社

梶原太刀洗水

上総之介塔

大江稲荷

大江広元邸



熊野神社

区間距離と所要時間

※休憩時間含まず

区間	距離	※時間
1→2	約 100ｍ	約 5 分
2→3	900	30
3→4	600	20
4→5	1, 100	30
5→6	500	20
6→7	500	15
7→8	300	10
8→9	500	15

本郷ふじやま公園古民家歴史部会

23. 05. 17
22. 12. 30
22. 08. 15

dimson　KANDA

上総広常

千葉常胤　3百騎率いて即座に参陣
上総広常　2万騎で2日後に参陣
頼朝に対し下馬の礼をとらない
頼朝に対しては武衛と呼ぶ

双六に興じる二人 NHKテレビ放送画面より

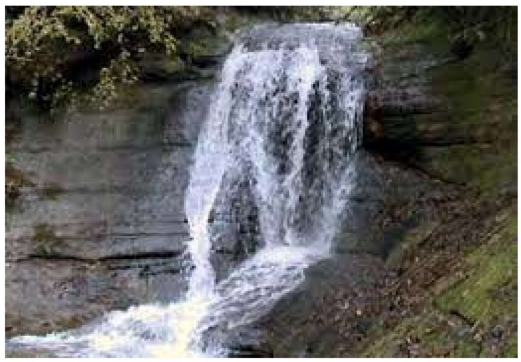
梶原景時
（中村獅童）

上総広常
（佐藤浩市）

下総国・上総国・安房国

景時が広常を斬る

NHKテレビ放送画面より



景時の太刀を洗ったと
云われる太刀洗の水

大江広元（栗原英雄）

NHKテレビ放送画面より